

「人生100年時代の働き方」意識調査

8割のミドルが、定年後も働き続けることを希望。
年収1000万円以上は「起業・独立」、年収1000万円未満は「現職での再雇用」が第1位に。

—「ミドルの転職」ユーザーアンケート集計結果—

人材採用・入社後活躍のエン・ジャパン株式会社（本社:東京都新宿区、代表取締役社長:鈴木孝二）が運営するミドル世代のための転職サイト「ミドルの転職」（<https://mid-tenshoku.com/>）上で、サイトを利用している35歳以上のユーザーを対象に「人生100年時代の働き方」についてアンケートを行ない、612名から回答を得ました。

調査結果 概要

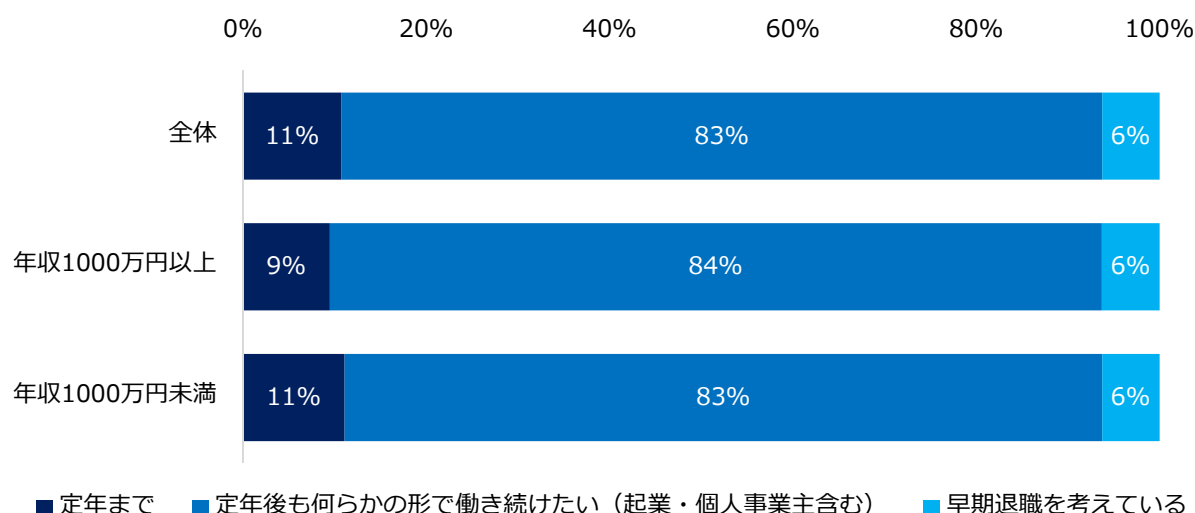
- ★ 8割のミドルが「定年後も何らかの形で働き続けたい」と回答。
- ★ 定年後の理想の働き方、年収1000万円以上のミドルは「起業・独立」、年収1000万円未満のミドルは「再雇用制度を利用」がそれぞれ最多
- ★ 定年後も働き続けるために必要なこと、第1位は「コネクション・人脈づくり」。

■ 調査結果詳細

1：8割のミドルが「定年後も何らかの形で働き続けたい」と回答。(図1)

「“人生100年時代”を見越した上で、いつまで働くことを想定していますか？」と伺ったところ、83%のミドルが「定年後も何らかの形で働き続けたい（起業・個人事業主含む）」と回答しました。

【図1】“人生100年時代”を見越した上で、いつまで働くことを想定していますか？



※小数点以下を四捨五入しているため、必ずしも100%にならない。

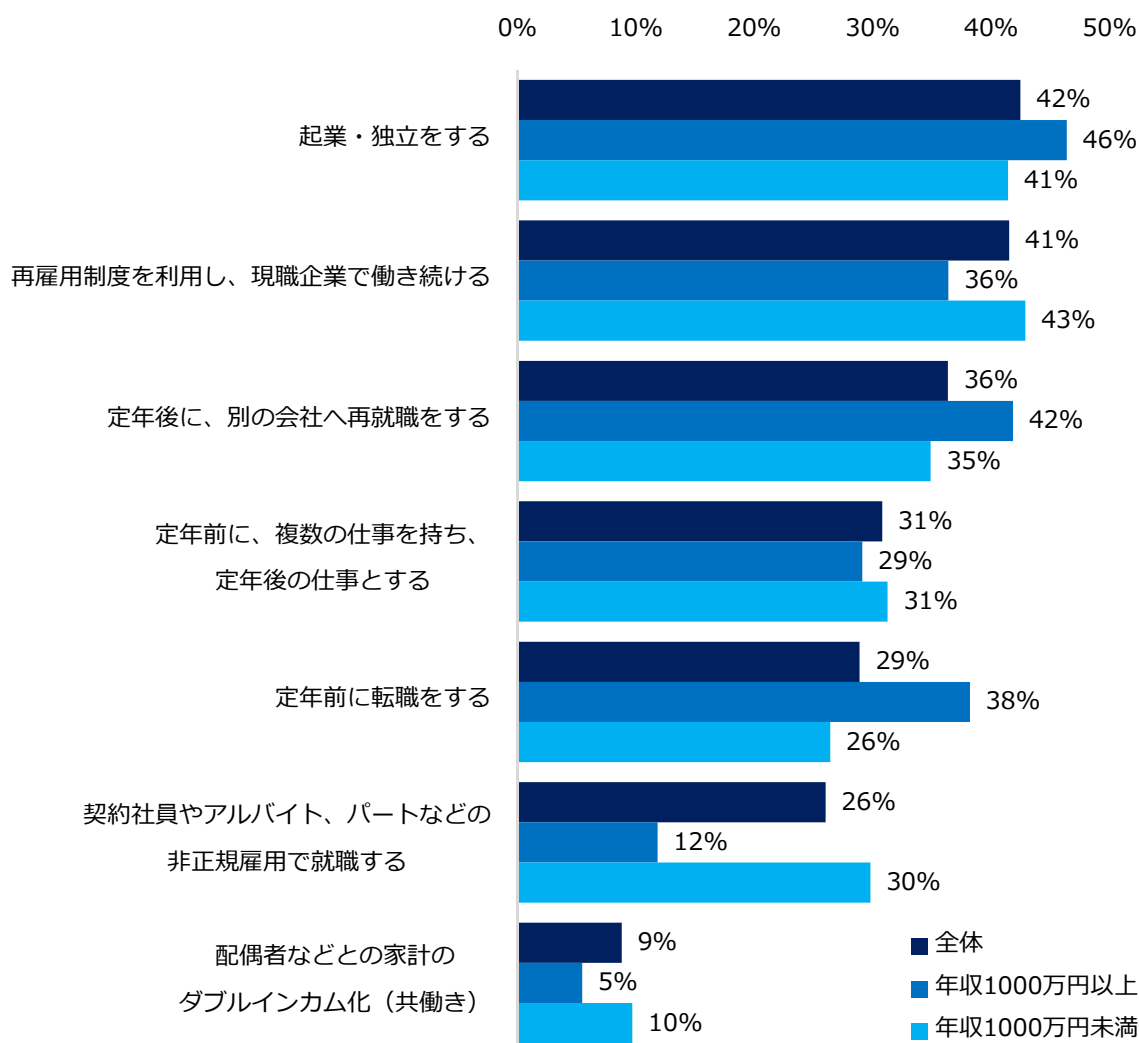
2：定年後の理想の働き方、年収1000万円以上のミドルは「起業・独立」、 年収1000万円未満のミドルは「再雇用制度を利用」がそれぞれ最多。（図2、図3）

「定年後も何らかの形で働き続けたい（起業・個人事業主含む）」と回答された方に、具体的にどのような働き方を想定しているか伺うと、第1位「起業・独立をする」（42%）、第2位「再雇用制度を利用し、現職企業で働き続ける」（41%）、第3位「定年後に、別の会社へ再就職をする」（36%）でした。

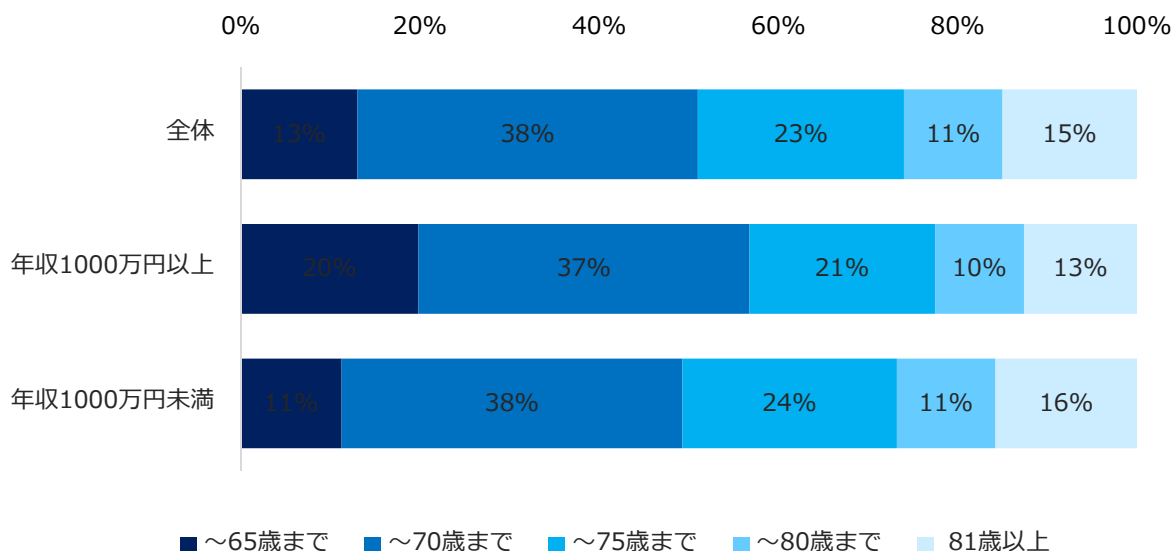
年収別に見ると、年収1000万円以上の方は「起業・独立をする」（46%）、「定年後に、別の会社へ再就職をする」（42%）、「定年前に転職をする」（38%）という回答が目立ちました。年収1000万円未満に比べ、起業や転職を考えている方が多いようです。年収1000万円未満の方の回答で最も多かったのは「再雇用制度を利用し、現職企業で働き続ける」（43%）でした。

「定年後も何らかの形で働き続けたい（起業・個人事業主含む）」と回答した方に、何歳まで働きたいかを伺ったところ、「～70歳まで」（38%）が最多でした。

【図2】「定年後も何らかの形で働き続けたい（起業・個人事業主含む）」と回答された方にお聞きます。
具体的には、どのような働き方を想定していますか？（複数選択可）



【図3】「定年後も何らかの形で働き続けたい（起業・個人事業主含む）」と回答された方に伺います。
何歳まで働きたいですか？



※小数点以下を四捨五入しているため、必ずしも100%にならない。

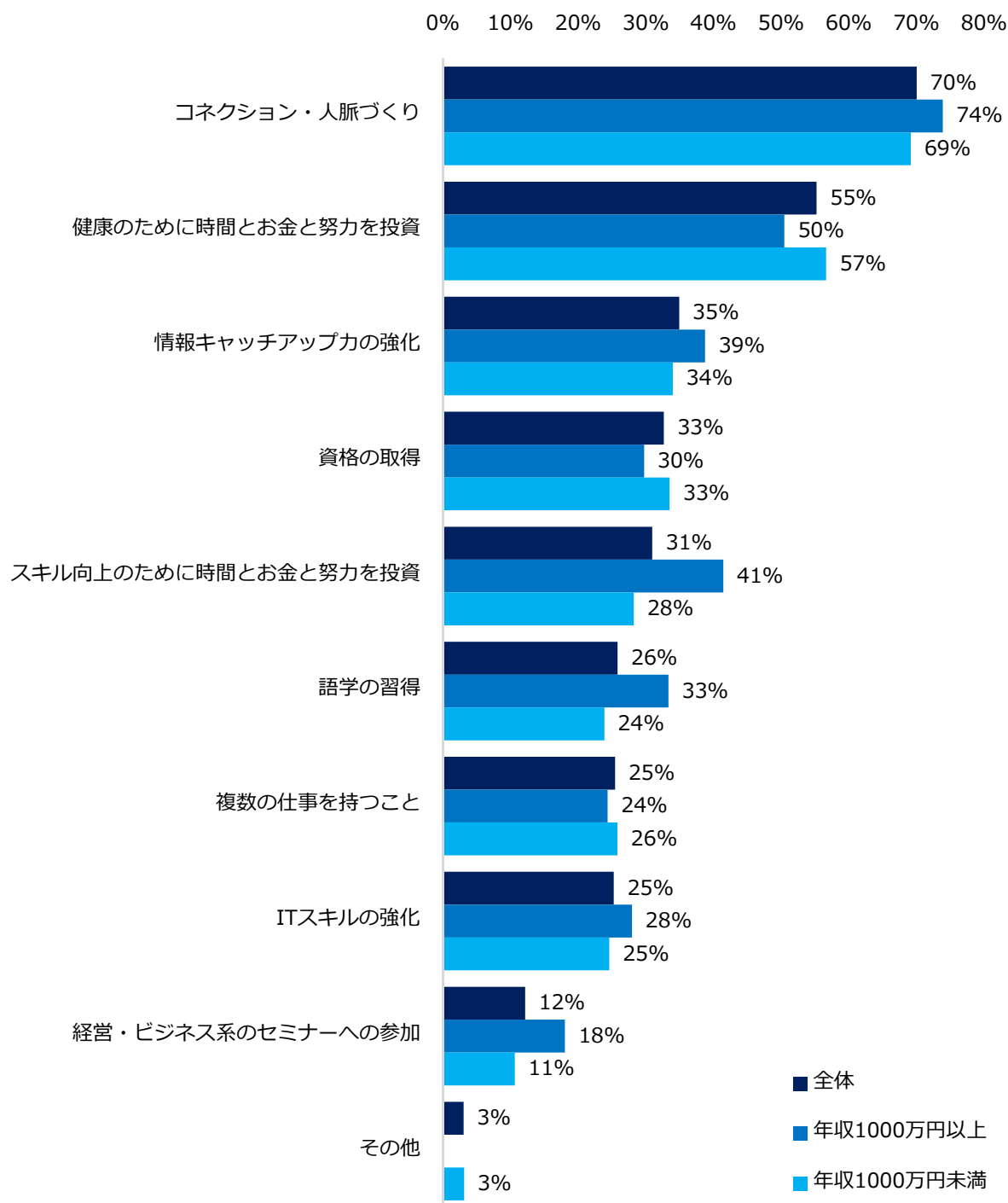
3：定年後も働き続けるために必要なこと、第1位は「コネクション・人脈づくり」。(図4)

「定年後も何らかの形で働き続けたい（起業・個人事業主含む）」と回答された方に、働き続けるために必要なことを伺うと、最も多い回答は「コネクション・人脈づくり」（70%）でした。次いで、「健康のために時間とお金と努力を投資」（55%）が挙げられました。

年収1000万円以上の方は、年収1000万円未満に比べ、「コネクション・人脈づくり」（74%）、「スキル向上のために時間とお金と努力を投資」（41%）、「語学の学習」（33%）という回答が目立ちました。高収入な方ほど、自己研鑽を重要視している傾向が見受けられます。

定年後も働き続ける上で、ネックや不安に感じることを伺ったところ、スキルや収入に対する不安が多く寄せられました。具体的なコメントを紹介します。

【図4】「定年後も何らかの形で働きたい（起業・個人事業主含む）」と回答された方に伺います。働き続けることを可能にするには、何が必要だと考えていますか？（複数回答可）



定年後も働き続ける上でネックや不安に感じること

○スキル面

- ・管理職を長くやっていると実務能力が衰える。今後また働いていくとしたら、IT系など何らかのテクニカルスキルを伸ばすが必要になると思う。（48歳男性／年収1000万円以上）
- ・将来に備えてスキルアップしておきたいが、働きながらだと勉強の時間を確保するのが難しい。（53歳男性／年収1000万円以上）
- ・自動化やAIの存在によって働き方が変わっていく中、自分が求められる仕事が将来あるのかが不安。（36歳女性／年収1000万円未満）
- ・定年後までには個人事業主となるために必要な、税や法律に関する知識を集める必要がある。現在、そのための時間が取れていないことが課題。（36歳男性／1000万円未満）

○収入面

- ・専門化された仕事ばかりしていると、転職先も少なく、収入アップに繋がりにくい。（47歳男性／年収1000万円以上）
- ・再雇用の場合、極端に収入が下がること。（50歳男性／年収1000万円以上）
- ・再雇用などの制度はあるが、給与面が大幅ダウンになるのが実態。スキルがある場合でも、給与の維持がネックになると思う。（39歳女性／年収1000万円未満）
- ・健康とお金が不安です。現在、自身も通院している中、子供の教育費や親の介護費用などで出費が多く、思うようにお金がたまらない状況。転職して収入を上げ、少しでもゆとりを持ち、定年後に備えたいと思う。（49歳男性／年収1000万円未満）

【調査概要】

- 調査方法：インターネットによるアンケート
- 調査対象：「ミドルの転職」（<https://mid-tenshoku.com/>）を利用する35歳以上のユーザー
- 有効回答数：612名
- 調査期間：2018年8月1日～8月30日

本ニュースリリースに関する問合せ先

広報担当：大原、松田、清水

<https://corp.en-japan.com/>

エン・ジャパン株式会社

〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー
TEL：03-3342-6590 FAX：03-3342-4507 MAIL：en-press@en-japan.com